

## WHAT IS CLAIMED IS:

1. ETA 含有廃水を水酸化ナトリウムにより中和して PH 値を調整し、金属を沈殿分離させた後、濾過装置により濾過し、その後電気分解装置に供給して電気分解し、ETA に起因する COD 値を環境放出制限基準値以下にすることを特徴とする ETA 含有廃水の処理方法。

2. PH 値が、8 ～ 12.5 であることを特徴とする請求項 1 記載の ETA 含有廃水の処理方法。

3. ETA 含有廃水が、塩酸性廃水であることを特徴とする請求項 1 記載の ETA 含有廃水の処理方法。

4. ETA 含有廃水が、硫酸性廃水であることを特徴とする請求項 1 記載の ETA 含有廃水の処理方法。

5. 電気分解中に発生した水素ガス及び酸素ガスが、分解ガス処理装置を介して排気されることを特徴とする請求項 1 記載の ETA 含有廃水の処理方法。

6. ETA 含有廃水を電気分解処理した後、該廃水を再び前記濾過装置に戻して電解処理を繰り返すことを特徴とする請求項 1 記載の ETA 含有廃水の処理方法。

7. 電気分解装置が、複数の電解槽を直列接続した多段式電解装置であることを特徴とする請求項 1 記載の ETA 含有廃水の処理方法。

8. ETA 含有廃水が、加圧水型原子力発電所の再生装置から排出されることを特徴とする請求項 1 記載の ETA 含有廃水の処理方法。